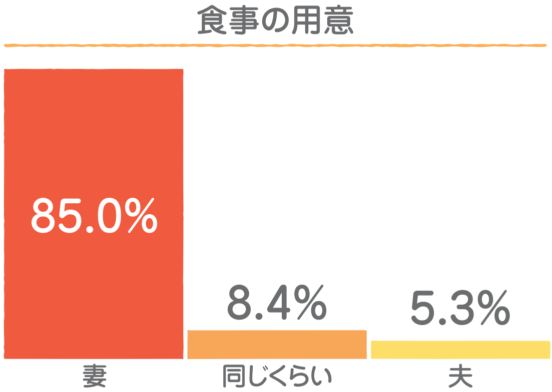
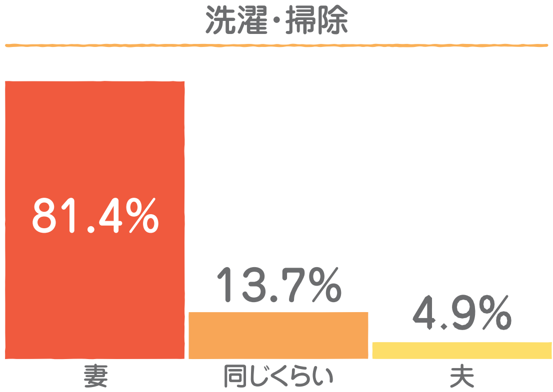
夫婦の家事分担　主に担当しているのはどっち?





　結婚している女性のうち、仕事を持っている人に聞きました。妻が働いている家庭でも、８割以上で女性が「食事の用意」「洗濯・掃除」を主に行っています。

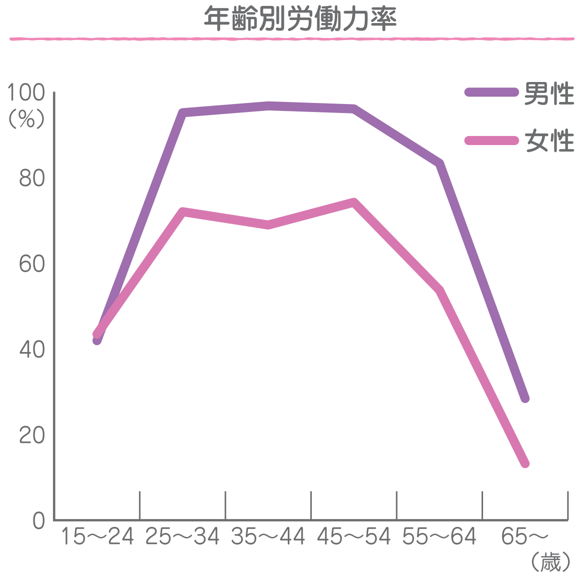
札幌市「男女共同参画に関する市民意識調査」（2011年）

家事は誰のしごと? 快適な家庭生活は、みんなの力で

　家庭は私たちの生活の基本です。その家庭を支え、家族が心地良く過ごすためには、食事の用意や洗濯、掃除など、さまざまな家事が欠かせません。皆さんの家では、誰が家事を担当しているでしょうか？もし、特に決めたわけでもないのに、いつも女性が行っているようなら、「家の中のことは女性がするもの」「男性は家事が不得意」などと考え、つい任せきりになっているのかもしれません。

　大変な家事も家族みんなで協力し合えば、楽しく行うことができます。

女性はM字 男性は台形 性別で違う働き方



15歳以上の人のうち、働いている人や仕事を探している人の割合を**労働力率**といいます。

年齢ごとの労働力率の変化をグラフに表すと、男性は、初めて就職するころから定年退職の時期まで、ほぼ一定の台形なのに対し、女性は**M字のカーブ**を描きます。女性は、結婚したり、子どもを産んだりする時に、仕事をやめることが多いのが原因と考えられます。

総務省「労働力調査」(2011年)

男性も女性も　生き生き働き社会も元気に!

女性は男性と比べて、結婚や出産、子育てによって働き方に影響を受けやすく、仕事を続けることが難しくなる場合や、再び働こうと思っても就職先がすぐに見付からないことがあります。

性別を問わず、誰もが働きやすく活気のある社会をつくるためには、育児休業制度や短時間勤務制度などを活用した安心して子育てができる職場づくり、再就職支援、仕事に役立つ知識や技術を学ぶ場の提供などが必要です。